

CASE 分析～統合(胸焼けの少年)

<前分析>

- ① 印象 色黒でガリガリ体型だが基本的には健康。真面目で前向き。我慢強い。負けず嫌い。
目標達成型タイプ
- ②健康度 8/10
- ③予後
 - ・良いレメディがある時＝食後の胸焼け吐き気症状がなくなり、現在の健康状態が更に良くなる。
 - ・良いレメディがない時＝食後の胸焼け吐き気症状は続き慢性化してゆくかも知れない。
- ④急性・慢性＝急性と慢性の間くらい(亜急性)
- ⑤治癒を妨げているものは＝無い。
- ⑥親和性(部位)＝胃腸・目・精神
- ⑦マヤズム傾向＝やや急性(亜急性)
- ⑧全体性＝食後に起きる胃の不調にまつわる乱れ。他の部位に不調は起きていない。
- ⑨バイタリティー＝7～8/10

<分析～統合(病の中心＝何が癒されるべきか?)>

- 基本的には、健康な人。
- 1 年ほど前の受験とテニスの試合でのストレスをきっかけに、胃の不調が発症。元々無かった胸焼け・吐き気の症状が、やや急性的に出て来ている。彼の病気は、根深いものではなく、1 日寝たら回復するような軽度(亜急性的な)のものである。
- 精神・感情面は、激しさや怒りを内に秘めているようだが、特に乱れているわけでもない。また、知らない人や新しい環境への敏感さもあるようだが、15 歳という年齢を考えた時、また、ホメオパスとの受け答えから考えても、特に問題はない。心身の根深い問題により、胃の不調症状が起きているとは考えにくい。

統合＝「受験・試合を前にすると、どうしても結果を出したくて、それがストレスになり、胃の不調(胸焼けなど)というやや強い急性的な症状が出てしまう高校生」

従って、この CASE では、胃にまつわる症状に着目してアプローチして行く。

胃にまつわる症状・・・

- 1. 食後の胃の胸焼け症状
- 2. 食後の吐き気
- 3. 食後のしゃっくり
- 4. 食後の不調(全身)
- 5. 周期的症状
- 6. 勝ちたい、負けたくない、(失敗したくない)
- 7. 興味あることに集中してのめりこむ(どうしても目標を達成したい)

これらの症状をレポートライズして、症状の全体をカバーしているレメディ候補を挙げて、その中から、ベストレメディを探す。 以上